

100,000年危険な核のゴミ 捨て場は何処に

青森県・六ヶ所村で“核のゴミ”問題を見つめ続けた島田恵監督が、未来に向けて紡いだ報告書

レポート

チャルカ

～未来を紡ぐ糸車～

「チャルカ」とは、インドの手紡ぎ糸車のことです。インド独立の父、ガンジーはイギリスの支配から自立するために、自国で生産した綿花を自分たちで紡ぎ、その糸を手織りにした布（カディ）を産業にしようと提唱しました。糸車を回すことは未来への祈り。タイトルにはその思いを込めました。



監督・撮影：島田 恵

編集：井上秀明 音楽：川原一紗 イラスト：はらだゆうこ 制作・配給：六ヶ所みらい映画プロジェクト 配給協力：きろくびと

2016年 | 日本 | カラー | HD | 90分

rokkashomirai.com

放射性廃棄物最終処理は 100,000年以上つづく わたしたちの課題なのです。

核のゴミは無害化できない。
原子力利用は、未来永劫と言え
る。
未来の子どもたちに対する犯罪である。

小出裕章(元京都大学原子炉実験所助教)

島田恵監督はしなやかな、
執念のドキュメンタリストである。

悲劇の核燃の村『六ヶ所』に12年も棲み着いて

前作の映画作品を生み出し、

今回の『チャルカ』では、

原発のない社会を紡ぎだす人びとの

抵抗と希望を指し示した。

鎌田 慧

(ルポライター・ノンフィクション作家)

映画『チャルカ～未来を紡ぐ糸車～』制作への想い

東日本大震災は私たちにとって本当に大事なものは何なのかを問
いかけ、福島原発事故は経済優先社会が行き着いた惨状を見せつけ
ました。それでもなお、人類の環境破壊は止まりません。その究極は
10万年以上も毒性が消えないという放射性廃棄物=核のゴミを生
み出してしまったことでしょう。それは遠い先の子孫たちの住処ま
でも奪っていることにほかなりません。人類が直面しているこの課題
から、私たちが学ぶべきことはいったい何なのでしょう。

本作品には、高レベル放射性廃棄物の地層処分研究施設のある北海道幌町町の隣町で酪農
を営む久世^{しげつぐ}薫嗣さん一家の生き方を軸に、もう一つの研究施設がある岐阜県東濃地域、そして
世界で初めて地下処分施設が建設中のフィンランド、原子力大国フランスの処分計画地ビュ
ール、さらには新しいエネルギーや生き方が織り込まれています。私たち一人一人が未来をどう
紡いでいくのか。どの世代の方にも観ていただきたいと思います。

監督:島田 恵

監督 島田 恵(しまだ・けい)

1959年東京生まれ。写真家・ドキュメンタリー映画監督。
1986年のチェルノブイリ原発事故後、核燃問題で揺れる六ヶ
所村を初めて訪ね衝撃を受け撮影を開始する。1990年～
2002年まで同村に在住。写真集『六ヶ所 核燃基地のある村
と人々』(高文研)で第7回平和・協同ジャーナリスト基金賞を
受賞。同名の全国縦断写真展を行う。3.11後に制作した長編
ドキュメンタリー映画デビュー作『福島 六ヶ所 未来への
伝言』は「2014年キネマ旬報文化映画部門」第7位となる。

監督・撮影:島田 恵 編集:井上秀明 音楽:川原一紗 イラスト:はらだゆうこ

出演:久世重嗣さん 小泉純一郎さん フィンランドオンカロの人々 フランスビュール村の人々他

宣伝美術:大橋祐介 宣伝:contrail

制作・配給:六ヶ所みらい映画プロジェクト 配給協力:きろくびと

2016年 | 日本 | カラー | HD | 90分

六ヶ所みらい映画プロジェクト <http://rokkashomirai.com/>

8.12 土 より2週間限定モーニングショー 連日AM10:30~
特別鑑賞券:1,200円 当日一般・学生:1,500円 シニア:1,000円

初日来場者のみ先着でプレゼントあり(無くなり次第終了)。期間中ゲストトークも開催予定。

※詳細は劇場または公式HPでお知らせ致します。

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コムショップ左入ル

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・整理券制